

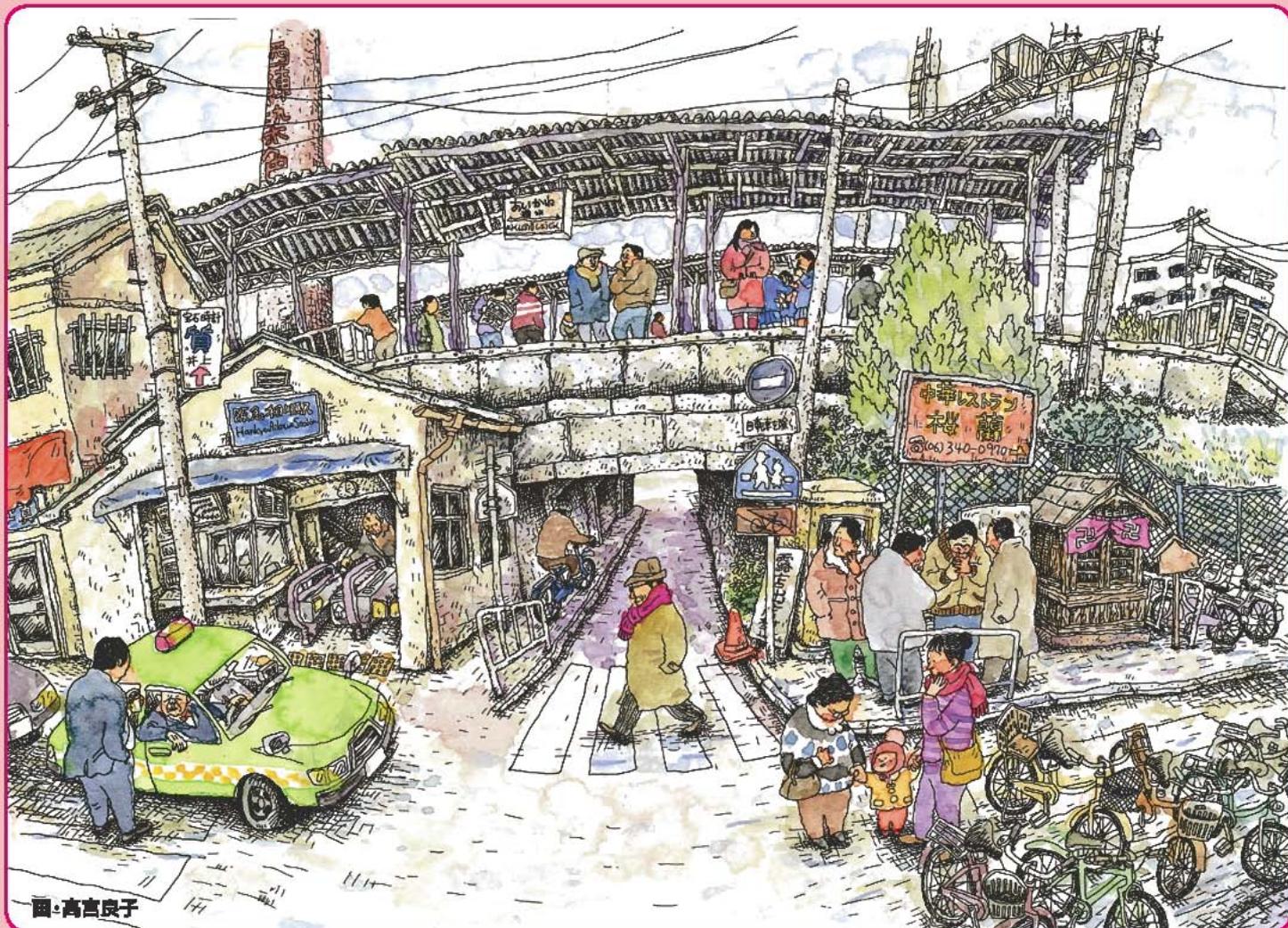
すいた市民 Suita しんぶん

2006.2 この新聞は定期的に発行し、吹田市民のみならずみなさまにお届けしています。

2006
Vol. 1
February

【主な内容】

- 2… 新春楽談会=平和、憲法九条大いに語る
- 6… イラクに被爆アオギリを
- 8… 吹田獨愛主義=吹田駒物園の復活
- 11… 吹田に産廃施設?
- 12… 戦火に散ったアスリート=大阪タイガース・西村幸生
- 14… いわみせいじのヨコシマ日記
- 15… 障害者自立「支援」法??
- 16… うめかもの吹田移転は住民投票で



画・高宮良子

阪急・京都線相川駅は、かつて「東吹田」駅と呼ばれていました。安威川を渡れば高浜神社。この駅が吹田の玄関口だったのでね。

●発刊のご挨拶

私たちの街、大阪府吹田市。大阪港に陸揚げされた物資は、神崎川の水運で京の都に運ばれていった。船着場の一つが吹田の高浜神社周辺。ここは亀岡街道を結ぶ「吹田の渡し」があり、陸路と水路の交差点であった。やがて物流の主役は船から鉄道へ。東海道線が吹田にやって来て、大きな操車場が建設された。千里丘陵が大阪平野につながる所、こんこんと湧き出す清水はアサヒビールの原料となり、いつしか吹田は「ビールと操車場の街」と言われるようになった。

そして戦争。多くの命が奪われ、家が焼き払われた。焼け跡から街が復興し、名神高速道路が街の中央を横断する。北部の竹やぶを切り開き、東洋一の千里ニュータウンが造成され、万博が開催される。吹田の名前は全国に知られるようになり、有数のベッドタウンとして、保育所や小中学校の増設が進み、大阪大学や国立循環器病センターなどの学術機関がやってくる。江坂は若者の街になり、山田や佐井寺、千里丘の田んぼはマンションに変わった……。

そして今、吹田市の人口は35万人を数える。少子高齢化社会の中で昔のような右肩上がりの経済はもう期待できない。予算がない中でどのようにすれば「一人に優しい吹田市」であり続けることができるのか?住民参加って何だろう?平和や人権を守るためには?…

そんなことをみんなで考える新聞を作ろうと、私たちはこの「すいた市民しんぶん」を発刊しました。この新聞が市民と市民を結び、今後の吹田の街づくりに貢献できることを願っております。

すいた市民しんぶん発行委員会



岩根良委員長 「すいた市民しんぶん」新春座談会のゲストは、千里寺住職の武田達城さん、大阪YWCAの末吉佳世子さんです。昨年の総選挙で小泉自民党が大勝し、国会では憲法を変えようという動きが急ピッチで進んでいます。また民主党の前原代表も就任早々、国防軍の創設やアメリカとの集団自衛権などを言い出して、下手をすれば小泉さんよりタカ派の発言をされています。しかし世論調査では憲法九条を変えることに反対する人が60%を超えており、やはり住民の多数派は「反戦」だと思えます。本日は仏教、キリスト教と宗教の違いはあっても、

憲法九条大いに語る

それぞれ草の根レベルで平和を訴えておられるお二人から、戦争反対、憲法守れの熱いメッセージを寄せていただきましたと思います。

宗派を越えて 地道に平和活動

武田 作家の井上ひさしさんや大江健三郎さんたちが「九条の会」を立ち上げられ、その後各地で「憲法九条を守ろう」という声広がっています。私も「大阪の宗教者九条の会」に参加しています。このたび、浄土真宗で平和の声を上げていこう、と「本願寺九条の会」を結成しようとしたんです。すると、「浄土真宗だけやったら枠が狭い」という声が出て、昨年7月に「念仏者九条の会」を結成しました。教団の機関紙に意見広告を出したり、「仏教と憲法九条」と題する全国集会を開催したり、同名の冊子を出版したりと、運動を練り広げてきました。「九条の会」を通して「今まで一緒に活動してこなかった人たち」と連帯することができたのです。平和を守ろう、という一点で大同団結できたことが嬉しかったですね。とはいえ、宗教者全体を見渡せば、まだまだ

だ意識が高まっていない、というか、無関心な方も多いのが現状ですが。

末吉 YWCAは世界120カ国、日本では27の地域で活動しています。YWCAでも「憲法九条の会・関西」を10年前に結成して、地道に平和活動をしてきました。

アメリカで反戦活動を続けるオーバービー教授を招いて講演会をしました。その中でオーバービーさんは「憲法九条は素晴らしい」と言われました。海外の人々が私たちを勇気づけてくれます。YWCAは3年に一回全国大会を開くのですが、常に「憲法を守ろう」「日本を戦争する国にさせてはいけない」というスタンスです。

岩根 確かに「平和が一番」というのは万人共通の願いだと思えますが、しかし忙しい中で、「この運動を中心にすえる」「これが一番だ」とお二人が強い気持ちを持たれる、その背景って何ですか？

武田 お釈迦様は「相手を殺してはならない」と教えていますが、一方で「殺さしめてもならぬ」と説いています。時には利害が対立してけんかになる場合もあるでしょう。しかしその解決に

武力を使つてはならない。殺される道具となる武器の売り買いはしない。戦争になりそうな時、外交努力で、話し合いで解決する方法を考える。それが憲法九条です。アメリカ軍にイラク人を殺させてはならないわけで、戦争を未然に防ごうというのが、仏教者の本来の立場です。

末吉 YWCAはキリスト教を基盤としている団体です。聖書は「生命を尊ぶ」という精神ですから、当然「命を脅かすもの、つまり戦争には反対」ということになります。私どもは外国のお客様の訪問を受けることが多くありますが、先ほども言ったように憲法九条の評価がとても高いのです。よそから褒められるものにもっと誇りを持とうよ、と感じます。

侵略戦争に協力した教団の歴史

岩根 今、聖書の話がありましたが、ブッシュ大統領は「アフガン、イラク攻撃は神の声だった」と。宗教的な威信にかけて、「テロとの戦い」に勝利する、などと言いますが。
末吉 聖書は色々に解釈されてしまうんですね。ブッシュ大統



平和。

出席者
 大阪YWCA 末吉佳世子
 千里寺住職 武田達城
 吹田市労連 岩根 良

SUITA市民しんぶん新春座談会

領は聖書本来の意味ではなく、自分に都合の良いように聖書を解釈されているのだと思います。自分の声を「神の声」と偽っています。イラク戦争が始まる時、「キリスト教を使って戦争を正当化してはるよ、絶対に許さない！」って、みんなで憤っていました。

岩根 そんな意味では、時の権力者は宗教を上手に使いますね。大問題になっている小泉首相の靖国参拝もそうです。浄土真宗では教団として、公式参拝に反対されていますね。

武田 日本は先の戦争に対してきちんとした反省をしていますね。仏教教団は戦前、あの侵略戦争に協力したのです。敵の砲

弾に当たって死んだら極楽浄土へ行ける、喜んで弾に当たってこい、と人々を戦争に駆り立てたのです。そんな歴史があるのに、「一億総ざんげ」「東京裁判」だけで、戦争指導者や、それに協力してきた宗教者の責任をあいまいにしてしまった。恐ろしいのは、本来嫌なこと、悲しいことを、宗教は嬉しいこと、名誉なことに変えてしまうのです。戦争に行つて息子が死んだ。これは悲しいことです。しかし「お国のために立派だった」と靖国に祀られると、「息子の死は名誉だったんだ」となる。だから戦争体験者から「坊さんには「平和」を語る資格はない」と手厳しいことを言われます。

宗教者は自らを問ひ直すべきなのです。「なぜ南無阿弥陀仏をとえながら、「敵を殺せ」と言ったのか？」と。靖国は国民を戦争に駆り立てる「装置」です。だから恐ろしい。宗教者ももっと公式参拝反対の声を上げないとダメです。

岩根 国家神道が戦争を押し進める道具となった、とは聞いたことがあります。仏教もそうだったのです。

「た」と盛んに言いますが、作家の大江健三郎さんによると、「人々は喜んで受け入れた」そうじゃないですか。押し付けかどうかは問題ではなく、「エエもんはエエ」んですよ。政府はさまざまな口実を設けて、憲法を変えようとしています。私たちはそれを論破していかないとダメです。

武田 まだ神道のほうが素直でしたよ。「武運長久」というお守りの精神だった。しかし仏教は「喜んで死んでこい」ですから。

岩根 歴史を知ることって大事ですね。というか、そんな事実をこそ、もっと知らせていかないとダメですね。

武田 戦前は「戦争反対」というだけで厳しい弾圧を受けたそうです。弾圧を受け、ひどい目に会うと、人間は黙ってしまふものです。浄土真宗の歴史が

戦争を風化させない。沈黙は…

お堂で出陣式までやったのですから。

このような事実を語ることは不愉快かもしれませんが、しかし

武田 今、改憲派は「憲法はGHQに押し付けられたものだから、

武田 戦前は「戦争反対」というだけで厳しい弾圧を受けたそうです。弾圧を受け、ひどい目に会うと、人間は黙ってしまふものです。浄土真宗の歴史が

戦争を未然に防ごうというのが、仏教者の本来の立場…武田
 よそから褒められている「九条」にもっと誇りを持とう…末吉

世論調査Ⅱ 九条改悪反対60%、住民の多数派は「反戦」…岩根



昨年12月、吹田では自衛隊の撤退を求める平和パレードが行われた

戦争被害と侵略の事実を知る

まさに弾圧の歴史でして、一向一揆をやった所は弾圧の恐ろしさを骨身に染みて知っている。一揆に失敗すると、お上に物を言わなくなるのです。親鸞や法然は権力を批判して弾圧され、結局浄土真宗は体制側になびいてしまうのです。そんな歴史がありますから、先の戦争でも、権力が恐ろしいからと、イヤイヤ協力したのではない。むしろ仏教者が積極的に協力していった。そこを反省すべきです。

岩根 原爆などの戦争被害と共に、日本が中国や韓国を侵略し大量の人々を虐殺した、という事実から目をそむけてはいけな

いと思いますが、その歴史を伝えようとする、「自虐史観だ」とか、「虐殺そのものがなかった」などという横やりが入り、ひいては戦争そのものを美化しようとする教科書まで作られる始末です。

末吉 YWCAでは教科書問題にも力を入れています。日本と韓国の教科書を調べましたが、戦争部分の記述は、韓国が日本の数十倍です。韓国の若者は戦争の歴史を知っています。一方、日本では従軍慰安婦や沖繩戦の記述がなくなろうとしています。韓国では親が子どもに戦争を語り継いでいますが、日本では話題にすら上らない家庭が多いようです。実際にYWCAで韓国からの留学生を受け入れています。加害者は日本だった」とハッキリ言う学生が多いです。一方日本の学生はそんな主張はしません。政治的なことや歴史的な事件について言わないのではなく、言えないのだと思います。事実を教えられていませんから。

武田 対照的なのがドイツですね。ヴァイツェッカー大統領は「ドイツ国民のしたことについてまでも心に刻まねばならない。

アメリカの原理は「勝ち組」だけが幸せ享受



岩根 良さん
吹田市職員労働組合執行委員長/吹田市「平和の塔」実行委員会事務局長/「九条の会」に賛同する吹田講演会事務局

過去に目を閉ざしてはならない」と演説しました。だからナチスの侵略行為についてドイツは徹底的に謝罪します。若者たちの間で「もうええやないか」と言われても、毅然と謝罪するわけです。同じ頃、日本は教科書から省け、消してしまえ(苦笑)。

そして「心のノート」ですよ。自分の街を好きになろう、国を愛する子どもになろう、と。でもね、戦争犯罪について謝罪もしない国や指導者を好きになれますか？憲法を変えて青年を戦争に巻き込もうとする国を愛せますか？

市はもつと非核三原則の広報を

岩根 吹田市はそのような戦争反省の上に立って、昭和58年に非核平和都市宣言を行いました。

吹田という地域や行政について、何か注文などはありますか？

末吉 私はずっと、吹田市が非核平和都市宣言していることを自慢しているんですよ。子どもが小学生のときに家庭学習でPTAも非核三原則を勉強しました。

YWCAは70年初頭から「核」否定の思想に立っています。それで全国の仲間にも「私の住んでいる吹田市は非核です」と宣伝しています。でも最近では非核3原則も知らない若者が増えてきます。吹田市はもつと市報などで知らせていくべきですね。

岩根 九条の会など草の根から市民が平和を発信し始めましたが、もう一つ大事なのは地方自治体が「戦争反対」、「憲法守れ」の声を上げていくことが大切だと思います。戦前は地方自治がなく、知事も任命制で、市役所の仕事は税金を集め、軍事教練、赤紙を配ることでした。でも今は違います。東京都国立市の市長などが戦争反対の声を上げ始めています。

武田 国会だけに任せるのではなく自治体も声を上げていくべ

平和を希求する人たちのネットワークを作る時期

きですね。自衛隊のイラク派兵もそうですよ。早く撤退させるべきです。朝日新聞に92歳の女性の投書が載っていました。「小泉少年よ、君のような子どもが戦争ごっこをするなー私は黙って死んでいこうと思っていたが、これを言わねば死にきれない」と。国のためとか人道支援などの美名の裏で何が行われているのかきつちり見極めて、吹田市もこの92歳の女性のように、積極的に「戦争反対」の声を上げてほしいですね。

核廃絶、平和のネットワークを

末吉 戦争とともに私たちが危惧するのは地球の温暖化です。温暖化で「砂漠か洪水か」という地球になりつつあります。ア

靖国は国民を戦争に駆り立てる「装置」です



武田 達城さん

浄土真宗本願寺派住職
吹田市人権施策審議会
委員を3年務める



末吉 佳世子さん

大阪YWCA元副会長。日
本YWCA反原発・核兵器
廃絶プロジェクト委員を
務め、非核平和を訴える

劣化ウラン弾や核のゴミで地球は汚染

フリカやアフガンでは砂漠化が進み早魃で飢えています。アメリカや日本が石油を燃やして、そのために地球が温暖化し、石油を燃やしていないアフリカ、アフガンの人々が飢えています。岩根 今のアメリカのやり方は、発展途上国の資源を食いつぶして、自分の国だけ、もつと言えば一握りの「勝ち組」だけが幸せを享受する、という原理ですね。でもそれは行き詰る。今のイラク戦争がいい例です。そんな「弱肉強食」の世界ではなく、「もう一つの世界は可能だ」という運動も全世界に広がっています。格差を少なくして共存しようという世界に変えていかなければ、戦争はなくなならないのかもしれない。

武田 仏教の世界で「共命鳥」



空爆されたイラク・バグダッドの街角で遊ぶ子どもたち（西谷文和撮影）



（ぐみようちゅう）という架空の鳥が存在します。頭が二つ、身体は一つ。片方の頭は昼間活動し、もう片方は夜行性。互いに仲が悪いので、ある日片方がもう片方に毒を食わせて殺してしまつた。しかし身体は一つなのでその毒が身体に回り、毒を食わせた方も死んでしまうのです。アメリカは石油を奪うためにイラクを侵略した。イラク人を多数殺したが、アメリカ人も多数殺された。これでは「共命鳥」ですよ。

私たちは宇宙船地球号に乗り込んでいる仲間なのだという発想が大事です。

末吉 その意味で核廃絶の問題はとても重要です。アメリカ軍が使用したと言われている劣化ウラン弾や原発からの核のゴミで地球は汚されています。そんな事実を若い人たちに伝えていきたいと思っています。

武田 仏教者は政治には口を出してはならない、という「へんな伝統」があつて、今まで宗教者はあまり時の権力者に対して意見を言いませんでした。でも日本が戦争をする国に変えられようとしている時に、黙っていたり無関心であつたりしてはいけません。宗教者だけではなく、科学者や学生、労働者など、平和を希求する人たちのネットワークを作る時期だと思つています。

岩根 その意味でも吹田全体での九条を守る運動をもつと広げていきたいと思つています。この座談会が団体や主義主張の枠を超えて幅広い平和の声を束ねていく良いきっかけになればいいなと感じました。今日はありがとうございました。

イラクに

●西谷 文和



〈写真①〉白血病末期の子ども。撮影後5か月で亡くなった



被爆アオギリを植樹しよう



〈写真②〉被爆2世の子ども、今生きていれば11歳になるはずだ

戦争では普通の人々が
より多く死んでいく

03年11月、私はイラク戦争の傷跡をカメラに収めようと思い、初めてイラクへ赴いた。バグダッドで見た現実私の想像を超えていた。写真①の子どもは白血病の末期だった。アメリカが投下した劣化ウラン弾による放射能被害だと思われる。彼はこの写真を撮影した後、5か月で他界した。わずか4年半の人生だった。

写真2の子どもは9歳だった。父親が湾岸戦争に行き、そこでウラン弾を浴びた。この子は被爆2世として生まれてくるが、今回のイラク戦争でまたまたウラン弾を浴び、首筋のガンがみるみる大きくなりこのような姿になった。今生きていれば11歳になるはずだ。

写真3の赤ちゃんは生後3ヶ月。背中に大きな腫瘍を持って生まれてきたこの赤ちゃんは、すでに下半身が麻痺しており、仰向けになって眠ることさえできなかった。泣き叫ぶ赤ちゃんを、ただ抱きかかえることしかできない母親。

この赤ちゃんは04年1月、わずか5ヶ月の人生を閉じた。戦場で兵士だけが死ぬのなら、また話の筋は通っている。米兵もイラク兵も給料をもらい、国家の命令を受けて殺しあつたのだから。でも実際には兵士よりも普通の人々がより多く、戦争の巻き添えを食

らって死んでいく。残された地雷、クラスター爆弾の不発弾、そしてウラニウムの放射線…。

被爆アオギリをイラクと日本を結ぶ平和の樹に

60年前の広島もそうだった。殺された人のほとんどが一般の人々。結局カミカゼは吹かず、「勝っている」と信じ込まされていた戦争は、実はボロ負けだった。

爆心地から13km、広島通信局(現在の日本郵政公社中国支社)の中庭で被爆したアオギリ。幹の半分が熱戦と爆風でえぐられたが、樹皮が傷跡を包むようにして成長し、焦土の中で青々と芽を吹いた。広島のパクシャたちはそのアオギリを大事に育て、被爆アオギリ2世、3世と命のリレーをつ

ないでくれた。

その苗木を私に分けていただくことになった。苗木をイラクに植えて、そこを平和公園にする。アオギリはイラクと日本を結ぶ平和の樹となり、樹のそばには平和のモニュメント。イラクが安定したら多くの日本人、特に若者たちにその公園を訪れてもらう。広島、長崎のパクシャとイラクのパクシャが互いに訪問しあってもいい。夢はふくらむ。



〈写真③〉生後3カ月の赤ちゃん。04年1月、わずか5か月で人生を閉じた

劣化ウラン弾の被害が最も大きいのはイラク南部の都市

劣化ウラン弾の被害深刻

バグダッド空港に着陸。アブグレイブ方面から煙が上がっていた



〈写真④〉劣化ウラン弾で白血病になったモハマド君



バスラである。バスラの有力者にメールを送った。「被爆アオギリを植えて平和公園を作りたい」という申し出は大歓迎され、私は特別招待の身分になった。問題はビザだった。日本政府がイラク政府に圧力をかけていて、日本人シヤーナリストにはイラクビザが下りなくなっていたのだ。

バスラを目前に強制送還 入国不可は日本だけ

05年11月、中東へ飛んだ。隣国ヨルダンからイラク入りをもったが、「ビザなし」の私はバグダッド空港で寸止めされ、ヨルダンへ強制送還された。

もし入国できていたらサマワにも行っただろう。本当にサマワは非戦闘地域なのか？ 自衛隊は歓迎されているのか？ そんなことが全く報道されなのまま、小泉首相は自衛隊派兵を1年延長した。1日駐留するだけで約1億円の税金が使われる。10日早く撤退すれば10億円が浮くのだ。その分を白血病の薬にしてイラクの病院に送ってあげれば、どれだけの命が救われるだろう。まして自衛隊は今、水さえ作っていない。本当に必要なかどうか、きちんと検証してから駐留するか、撤退するかを決めるべきなのに…。
かくして私のバスラ行きは

断られた。しかしバスラの人々も私もあきらめてはいない。時機を見て、日本からの募金とアオギリの苗木を携えて現地を訪ねる予定だ。

支援なしには命の灯は消える、待たれる抗ガン剤

写真4はアンマンで出会ったモハマド君（12歳）。彼は

アメリカが劣化ウラン弾で破壊した戦車の墓場で遊んでいて白血病になった。一緒に遊んでいた15歳のいとこは昨年9月に亡くなった。「もう絶



今回は食用油を送った

対に戦車の墓場では遊ばない」と誓うモハマド君だが、容態はすぐれず、治療費も底をつきかけている。

イラクの悲劇は「現在進行形」で、すぐに抗がん剤などの薬を届けるべきだ。ところが今のイラク政府は、こうした人道支援を拒否する。なぜか？

アメリカは劣化ウラン弾を使用したとは認めているが、それによってがん患者が急増しているとは認めていない。で、薬は必要ないという考え方。今のイラク政府はアメリカの言いなりなので、がんの子どもがバタバタと亡くなっているのを横目で見ながら「必要なし」と拒絶するのだ。仕方なく今回は食用油を送ったが、次回は何とかして薬を送りたいと思っている。

最後に「イラクの子どもを救う会」へ募金いただいたみなさんに、紙面を借りてお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

西谷さんが代表を務める「イラクの子どもを救う会」事務局は06・6192・7033。同会への募金は、三井住友銀行吹田支店 普通口座3712329 口座名義「イラクの子どもを救う会 西谷文和」▽郵便振込 口座番号00970-5-222501 口座名義「イラクの子どもを救う会」

被爆国日本ができることは？

吹田鴨物語の復活

…なぜ、ドイツ皇孫は釈迦ヶ池に現れたのか

新山ひろし



とびっきりの鴨汁そば。強い味と香りに身が内部から動く。

冬が来ればうまい鴨が食べたくなってくる。鴨汁と言えば、大阪の空堀にとびっきりの鴨を出す蕎麦屋がある。鴨の腕には細かなキラキラとした油が浮き、肉はシコシコとした歯応え。すき焼きのような濃い醤油味に、たっぷりの葱を合わせる。その強い味と香りを受けとめるのが、コシのある手打ちの蕎麦だ。アア、なんとも滋味にあふれた、命を養う食

べものであることか。この鴨が、昭和の初め頃までわが吹田で面白いほど獲れ、日常的に食べていたと聞いた。特に、岸部の釈迦ヶ池は有名であったという。今回は、吹田に残る鴨の物語を求めて釈迦ヶ池を訪ねてみることにしよう。

古代のワンダーランド吹田で、好きな場所と言われれば、僕は、まず、釈迦ヶ池の辺りを上げる。隣接する柴金山の丘には、古式豊かな吉志部神社があり、「渡来人」と見られる難波吉士の伝説が漂っている。しかも、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代という複合遺跡もあり、難波宮の古代瓦を焼いた工場跡でもある。まさに古代歴史の風土記の丘と呼びたい場所である。事実、風土記の丘としての整備も進んでいるようだ。それに、僕にとっては、ありがたく、心が踊る「吹田博物館」も釈迦ヶ池の真ん前にある。現在は、

釈迦ヶ池は名神高速道路に真つ二つに分割され、いささか無粋な部分もあるが、それでも、池の周りの丘には雑木林が広がり、現実を越えた別世界を感じさせてくれる。この釈迦ヶ池が鴨たちのパラダイスだったのである。吹田の鴨に関するいくつかの文献を見てみよう。

吹田は鴨の名所だった

池田半兵衛氏の「好きやねん史」に「すいた・千里」所載の「赤ひげと鴨池」には、「寛政6年ころから、村民が池の水際に初げらなどを撒いて餌づけをし、農事の手すきに罾網や無双網で鴨を獲るようになった。領主の淀瀆、稲葉侯の保護もあってこの慣習は永く続き、鴨を驚かせる猟銃を禁止してきた」とある。岸部の地には、毎年、冬になれば3〜4万羽を越える鴨が遠いシベリア方面か

ら渡来し、春になれば北の方へ帰っていった。

吹田市立博物館発行の「水辺の文化の再発見……鴨にみる人と自然」によれば「冬場の鴨漁は、裏作ができず余っている土地と時間を有効に利用できた。人々は、鴨に稲を食い荒らされる前に収穫を済ませ、鴨にとって刈り入れ後の落ち穂が絶好の餌場となり、さらには、大量の鴨がもたらした糞が夏場の肥料となった」とある。鴨は貴重な冬場の蛋白源、実に見事な、理想的な半農半猟の実態があったのである。

釈迦ヶ池の鴨に関して、僕には一つのエピソードが思い出される。江戸時代、岸部の地が早魃で水不足となった時、釈迦ヶ池の山側にある佐井村から「くり抜き水路」が掘られ、水が供給されたことがあった。そして、佐井村の人々の温情に対して、釈迦ヶ池の人々の御礼が鴨だったのである。いや、一緒に鴨汁を囲んだのかも知れない。鴨が人と人の心をつないだという心温まる物語がここにはあったのである。しかし、鴨に関わるとんでもない事件が釈迦ヶ池に起こることになる。

吹田事件は 外交問題となった



明治13年(1880)2月7日、いきなりズドン！と駅廻ケ池に音が響いた。鴨たちはいっせいに飛び立った。猟銃による鴨の捕獲は禁止されているはずだ。どうしたのだろう。岸部七ツ尾に住む井田元吉さん

が、発砲した人たちを見つけ注意した。だが、言葉が通じない。元吉さんは夢中で男たちに殴りかかったが、かけ寄せた外人に羽交い締めにされ銃口を向けられる。もみ合いとなり、男たちは逃げ出していく。通報を受けた巡査と共に元吉さんたちは、大阪の天満橋まで追いかけたというからすごい。

しかし、逮捕後、その禁猟の罪を犯した男を調べてみれば、ドイツ(当

時はプロシア)の皇孫ハインリッヒであった。事件は、一躍、外交問題にまで発展していく。これが、いわゆる「吹田事件」である。当時は、鉄血宰相ビスマルクの時代であり、日本はビスマルクを敵に回したくなかっただろう。だから、ひたすらに謝るといって、軟弱外交のドラマが展開していった。その結果、ドイツ側の要求を受け入れ、

大阪府庁の2カ所で謝罪式を行なった。ドイツ側の要求とは、一つは、事件を報道した新聞の発行停止、関係者は禁獄、罰金。二つは、事件に関係した巡査すべてを処罰となった。当時は、まだ、欧米に対する不平等条約があった頃であり、実に屈辱的な気分を日本人は味わうことになったのだ。

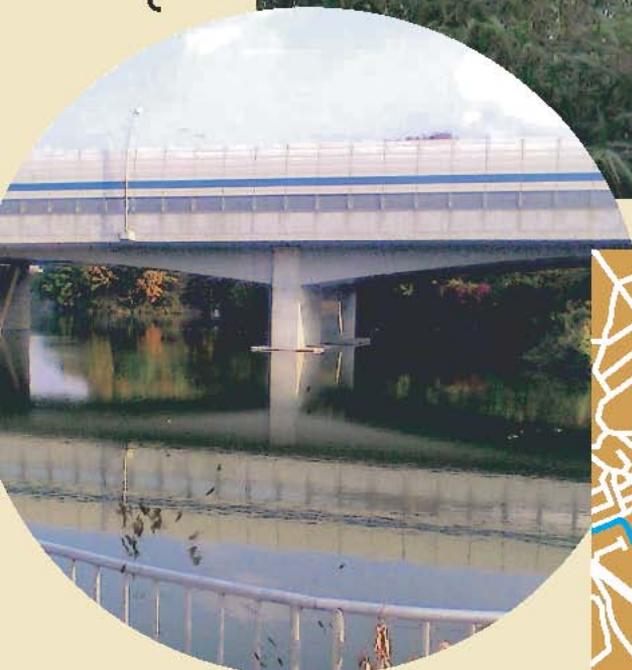
このような看板がでている
駅廻ケ池の元像に出会う気がする



▲長岡京市小泉川で撮影



丘の上から池を見下ろす
ぼく一人だ
池の面に映り込むのは、古代的な幻である



池の上の名神



なぜハインリッヒは 釈迦ヶ池に現れたか

ところで、なぜ、皇孫ハインリッヒは、吹田に現れたか。ぼくには、そのことが気になった。平成14年度版「吹田市立博物館・館報4」藤井裕之氏の「ドイツ皇孫「釈迦ヶ池」遊獵事件と外務省記録「独逸国皇孫来航接遇記」」によれば、皇孫ハインリッヒは、事件の前年、明治12年の5月23日に横浜に着いている。そして、翌年の2月、吹



鴨場獵(埼玉御獵場)昭和15年4月堀内讚位氏撮影
(堀内讚位「写真記録日本伝統狩獵法」1984年)

田事件を起こし、4月5日に同じ横浜港からドイツへの帰路に着いている。その間319日、一年弱、そんな長い間、彼は何をしていたのであろうか。旅程を見ると、ハインリッヒは東京はいうに及ばず、京都、奈良、大阪、神戸、滋賀、日光、愛媛、長崎、函館と脚を伸ばし、一時はウラジオストクまで行っている。これはいったい何なのだろう。敵国となる可能性のある日本を徹底的に調べ上げること……だったのだろうか。それにしても300日は長すぎはしないだろうか。「吹田事件」の顛末を見れば、日本をなめ切っており、どうやら遊興気分の日々だったのではないだろうか。明らかに、この場合は、鴨を獵銃で撃つことは違反である。もし、日本との友好を求めているとするなら、事件の法着の仕方が余りにも強圧的である。上げ膳据え膳、観光気分で甘え放題に過ごしていた皇孫に対して僕は腹立たしい気がしてくる。

吹田事件の意味するもの

明治12年、日本はまだまだ、国際的には「植民地」的な状態にあ

った。明治の始めの「塚事件」、「神戸事件」も、両方共、理は日本側にあったが、武士たちの切腹という形で法着を付けさせられた。「吹田事件」にも、切腹でという議論もあったようだが、福沢諭吉などがその弁護にあたり、元吉さんの生命は救われた。不幸中の幸いである。

そして、吹田事件の12年後、滋賀県大津でロシア皇太子ニコラスに護衛調査が切りつけるといふ事件が起

吹田名物「鴨すき」の復活を

前述の「好きやねん史「吹田・千里」」には「昭和5年、6年ごろから吹田操車場の指令放送や構内灯が夜どおし輝き、JOBKのラジオ送信所の鉄塔もできた。池端の森も戦時に切られて、いつしか鴨も雁も来なくなってしまった。」とある。

しかし、池側の丘に上れば、誰一人ここにはいない。完全に僕一人ひとりきりである。名神の音さえいぶん遠くに感じられる。鴨たちがもし、この池に還ってきたら、どんなに素敵だろうか。もどすことは可能なのではないだろうか。そして、そう

こった。その時も外交事件となつてはいつたが、「吹田事件」の教訓として、日本の司法側が外国の干渉を一切受け付けず、責任を持って裁くことを守り通した。この頃から、日本は欧米列強に対して外交的に毅然とした態度を持つようになっていく。そのような流れの中で日清・日露の戦争が勃発していくこととなる。日本の現代史の中の「吹田事件」の意味は実に大きなものに違いない。

れば、この岸部にとびきりの鴨汁を食べさせる茶店を作ろう。吹田という町を「観光都市・歴史都市・吹田」として育てていくならば「鴨すき」「鴨汁」は、素敵な名物となるだろう。その時、鴨は「歴史の香りを秘めた野性的な食」、すなわち「ソウルフード」として僕らの前に姿を現わにするだろう。(了)

新山洋(にいやま・ひろし)

本職はCMディレクター。主な作品に「紅葉パラダイス・裸天国」や宇治森徳「かおりちゃん」、最近では「スーパー白米」「茜丸五色ドラ焼き」など。新聞・雑誌分野では、「立ち飲みジャーナル」や「自家用車新聞」、「大阪人」、「さ・おおさか」などで連載多数。

吹田に産廃施設？

えっ!?

えっ、吹田市に産廃施設？吹田市の南端、東御旅町で突如現れた産廃施設建設計画。計画地には写真のような巨大な横断幕。事業者は「大阪都市開発(株)」。吹田市東御旅町5-34。「一般」収集業者である村尾興業(株)の駐車場を利用して産廃の中間処理施設を建設するという。そんなことになれば、吹田市始まって以来の産廃施設ということになる。自治会ぐるみで反対運動を展開する現場からお伝えしたい。

人口密集地域に建設計画
毎日80台の大型トラックが

「東御旅町って「工場地帯」というイメージがありました。が、今や都心に近い「居住空間」ですね」「そうなんです。昔の工場が地方に移転して、その跡地にマンションが建った

りして、人口が増えている地域なんですよ」。私を案内してくれたのは、「御旅町自治会」産廃施設反対委員会」の徳永愛弓さん。

「こんなところに保育園があるんですね。産廃施設予定地の目と鼻の先じゃないですか」「そうですね。計画に

よると、こんなに狭い道路に産廃廃棄物を満載した大型トラックが1日80台も通ると、ということなんです。こちら側には診療所も。今でも喘息やアトピーに悩まされている子どもやお年寄りが多いの……」

法律が世の中の流れ
についていてない

確かに東御旅町は「工業地域」に指定されていて、法律上は産廃施設の建設も可能だ。しかし時代とともに「工業地域」は「住居地域」に変化していく。法律が世の中の流れ



上:産廃施設予定地、(株)村尾興業の駐車場
中:東御旅町には大きな看板がいくつも
下:予定地の周辺には保育所や診療所が

集められ、シュレッダーにかけられる。無理して買ったマイホームのそばに産廃施設がやってくるのだから、住民にとってははたまったものではない。

大阪都市開発(株)の親会社は村尾興業で、本社は大阪市東淀川区。そんなに産廃事業をしたいなら自宅でやってみろ、というのが住民たちの本音ではないか。

壁耳に水の!?計画
街ぐるみで反対運動

この産廃計画が判明したのが04年10月。住民たちにとっては壁耳に水だったが、街ぐるみで反対運動に立ち上がった。産廃施設の営業許可を下ろすのが大阪府。そして施設の建築許可が吹田市の権限。つまり大阪府が吹田市が「住民の健康被害が懸念される」と許可を下ろさなければ、施設は建たない。

「昨年11月、1千通近くの反対署名を添えて阪口吹田市長と面談しました。市長は「建築許可を出すかどうかは最終的には私が判断します」と約束していただきました。常々「吹田の環境を守りたい」とおっしゃってる市長なので、まさか産廃の建築許可を下ろすことはないだろう、と期待しています」(御旅町自治会役員)

1千通の署名といえば、御旅町の人口をはるかに超える。これだけの反対意見を吹田市長が真摯に受け止め、キッパリ「最終判断」できるかどうか。市長の真価が問われている。



1000通の反対署名建設不許可へ市長の真価問われる

戦火に散ったアスリート ①

大阪タイガース・西村幸生

お笑いブームが続く中、最近では「ブユードン、ブユードン」というギャグが人気を呼んでいる。一方、こちらはシリアスな話。その昔、数々の武勇伝を残した日本一の野球選手が、ナニワにいた。プロ野球創成期、阪神がまだ「大阪タイガース」と名乗っていたころのエース西村幸生投手である。打倒巨人を掲げ、公約通り2年続けてタイガースを優勝に導く。

強烈なインバクトを残したまま、わずか3年で引退。やがて戦死…。戦争は、数多のアスリートから夢も生命も奪い取った。武勇伝に隠された彼らの無念を改めて胸に刻むことは、平和を祈る気持ちに通ずるのではないだろうか。

(フリーライター 吉岡 雅史)



沢村を凌駕する大投手だった

いきなり24勝の大活躍

巨人制し、チームに栄冠

タイガースの西村といえば「豪傑」や「酒豪」と派手な性格が語り継がれてきた。毎試合のように二日酔いで投げたこと、エースの意味である「主戦」に引つ掛けて「酒仙投手」と呼ばれた。

1937年(昭和12)に26歳で発足2年目の職業野球に身を投じると、いきなり24勝の大活躍。当時は8球団による1リーグで、春と秋の2シーズン制が採用されたばかり。春は巨人、秋は大阪が制し、第1回となる年度優勝決定戦はT-Gの顔合わせだった。

記念すべき初の大舞台で、酒仙西村が巨人をコテンパンに叩きのめす。大投手・沢村栄治との投げ合いとなった第1戦で1失点完投。第3戦は、のちの300勝投手スタルヒンに投げ勝った。そして王手のかかった第

6戦でも沢村を返り討ちにして、チームに初の栄冠をもたらした。

往年の大投手と聞くと、どうしても剛速球のイメージが強い。ところが西村は、ひと味もふた味も違った。

「真っ直ぐも速かったけど、コントロールが抜群でねえ、特に外角のスライダーは絶品だった。それだけではなく、バッターの心理を読むのがうまくて、打つ気がないと見るやど真ん中に投げる。1度打たれると、次の打席ではじつと目をにらみつけて、相手をびびらせたそうです」。

証言してくれたのは甥っ子で、三重県伊勢市でうなぎ料理店「喜多や」を営む西村隆明さん(62)。気性の激しさと、その半面、冷静だったことが話からうかがえる。

弱きを助け、強きを

くじく武勇伝人生

西村は1910年(明治43)、三重県宇治山田市(現在の伊勢市)で男3人の次男として生まれた。子供のころから近所では「カバ」と呼ばれるヤンチャ坊主だったが、決して弱い者いじめはしなかった。宇治山田中学では、後輩がパンカラをきどつて校則違反となる高下駄で通学して停学になったことに激高。その教師

関大(吹田)が育てた 元祖巨人キラー

を神社の堀にぶん投げて1年間の停学処分をくらっている。なんとも豪快な武勇伝だ。

落第して臨んだ中学最後の夏、ひとりの内野手がエラーを連発したことが原因となって高校野球の前身である全国中学大会、つまり甲子園出場の夢を目前にして断たれてしまう。名古屋からの帰りの汽車で、激怒したOBがその選手を責め立て、まさに手をかけそうになった時だった。「エラーをしようと思ってる者なんかおらん。なんでそんなことをするんですか」。一番悔しい思いをした西村がチームメイトをかばい、騒ぎは収まった。

「ユキさんには本当に世話になった」と、隆明さんは地元の人たちに言われてきたという。まさに「弱きを助け、強きをくじく」人生だったことがうかがえる。

東六勢を総なめ、関大 野球部第一期黄金時代

中学からノンプロを経て関大に入学したのが31年（昭和6）。関西六大学リーグ（現在の関西学生リーグ）は、この年の秋に旗揚げ。翌年から出番をもらった西村は、3年生の秋まで4季連続優勝。このあと、関大

伝武の数々の傑豪しき優心

が主張したリーグ再編案を認められなかったことから脱退騒動があったものの、1年で復帰するや、西村はまたも4季連続優勝の原動力に。関大野球部に第一期黄金時代を築いた。ちなみに第2期は村山実（阪神）、第3期は山口高志（阪急）がエースとして君臨した。

この頃はまだ日本にプロ野球は誕生しておらず、東京六大学が隆盛を誇っていた。西村が2年の秋に、東六勢が関西に遠征してきた。さしずめ、シーズンオフに大リーグが来日して実力の差を見せ付けていくのに似ている。東京大学は参加しなかったが、関大が5大学と行った全6試合のスコアを紹介しよう。

対明治大学	8	3
対立教大学	3	1
対慶応義塾大学	6	3
対法政大学	1	0
対慶応義塾大学	0	4
対早稲田大学	5	4



伊勢市倉田山球場前には西村選手の銅像が。相対するように巨人沢村選手の銅像もある

国内最高峰の東六勢を総なめにしてしまったわけだから、一躍「関大の西村」の名前は全国に轟いた。千里山の合宿所に戻ると、今度は酒と対戦。早大との最終戦では二日酔いがひどかったらしく、キャッチャーを呼び「まだ酒が抜けん。ミットが3つに見えるわ」。あきれた同僚の「じゃあ真中のミットを目掛けて投げろ」という助言を受け、そんな状態でも8回4失点と好投した。

日本一の投手をとりわけ熱心に勧誘したのが大阪タイガースだった。関大OBの田中義一球団代表が直々に出向き、「沢村に勝てるピッチャーがほしい」と、反骨精神を掻き立てる決めゼリフで口説き落とすのだ。

沢村との直接対決4勝1敗 背中でチームを引っ張る

プロ入り後の華々しいデビューは冒頭で触れた通り。特に、使命であった沢村との直接対決では4勝1敗と圧勝したから、当時のファンがどれだけ快哉を叫んだかは容易に察しがつく。2年目も西村は20勝して、年度優勝決定戦でチームは巨人に無傷の4連勝。その先陣を切っている。西村はどんなに酔っていても翌朝は

吉岡雅史（よしおか・まさし）
1963年吹田生まれの振津育ち。スポーツ紙記者を経て、昨秋「三」三紙「うずみ火」スタツフに。バッティングセンター研究者。



<写真説明>某局の年末特番で共演した際の筆者と横浜クルーン。あいにく出演シーンはほとんどカットされていた

黙々と走りこんだ。「西村があれだけ練習するんだから」と他の選手も手をぬけず、地道な積み重ねが優勝につながった。マウンドでの立ち居振る舞いは、ごく表面的なもので、背中でチームを引っ張ったということである。

プロ時代の欠かせない武勇伝といえば、御神酒おかわり事件だろう。入団2年目の開幕前、広田神社での必勝祈願で御神酒を飲み干すと、あとの列に潜りこんだ。これに気づいた神官がシャレの分かる人で、ひどく通り振る舞ったあと「おかわりの欲しい方はいませんか」と笑いながら呼びかけると、「西村が照れながら名乗りを挙げた。



西村選手の墓には阪神のロゴ入り

3年目、右肩故障をおして11勝。深さゆえに引退

契約最終年度だった3年目は右肩の故障もあって11勝。ペナント

レースは9球団1季制に変更されていて、大阪は巨人に3・5ゲーム差の2位に終わった。西村が万全の状態だったら、順位は逆転していただろう。すると、シーズン後にあつさりと退団してしまった。突然の表明に、周囲は首脳陣との対立が原因と邪推したが、実は「人に惜しまれるうちに辞めたい」と家族に打ち明けていた。この深さも、豪傑たるゆえんである。

退団後は満州に移り住み、満州電鉄でプレー。大学時代に知り合った日系二世の妻との間に3人の娘を授かり、末子夫人が四女を懐妊していた1944年(昭和19)3月に召集された。入隊の日、6歳だった長女・幸子に「すぐ帰るから、ビールをたくさん集めておいて」と酒豪らしいお願いが、家族との最後の会話になった。

南方戦線で2度、乗船した輸送船が沈没しながら、運よく2度もも助かっている。だが、45年4月3日、フィリピンのバタンガスで戦死。部隊が全滅したため、その時の状況は不明のままである。甥の隆明さんは「遺骨も遺言も何も戻ってこなかったから、祖母は『幸生は必ず帰ってくる』と言い続けていたそうです」と沈痛な面持ちで話した。

障害者自立「支援」法

小泉内閣の言う「痛みを伴う改革」はとことん「こまめ」やって来た。昨年成立した障害者自立「支援」法は、自立を「支援」するどころか「阻害」する内容だ。例えば多くの障害者が通う作業所などの施設利用料が、応能負担から応益負担に変更される。障害者世帯の所得によって違いますが、原則として、1割の利用料(月額上限3万、2000円)を支払うことになり、「働けば働くほど赤字」になりかねない。吹田市の福祉施設現場からレポートする。

◆スマイルぶくぶく —ひどい! 毎月約3万円 の「応益負担」—

吹田市岸部にある「スマイルぶくぶく」。ここでは19名の人がパンやクッキーを作っている。岩井和男さん(仮名・34歳)は、ぶくぶくで働いて14年。パンを丸めて焼く

仕事を楽しみ、と笑顔を見せる。朝9時から夕方4時まで働いて月給は約3万円。時給に直すと約300円。そんな

生きていけない、働けない 働けば働くほど赤字

岩井さんたちから表のように毎月29、2000円もの利用料を「応益負担」せよ、という血も涙もない法律が自立「支援」法だ。「国会まで行きました。「僕たち、お金取られるのイヤヤ」と言いました。寒かった。でも仲間がたたくたので心細くはなかったです」。岩井さんは弟と母の3人家族。大黒柱の父が亡くなり、働いているのは岩井さんだけ。障害者の家族が高齢

障害者「自立支援法」が施行されたら…
(代表的な例で考えました)

自宅から施設に毎月22日間通った場合

施行前	施行後		
	自己負担	施設の利用料 1割負担	食費負担
0円	14,900円	14,300円	29,200円

ただし、当面の間利用料は半額減免、食費も3年間は減免措置があります

す。私たちの給料は月額約2千円しかありません。本来、もっと行政が補助すべきと思いますが、現実には逆で、2千円の所得に対して約6千円の利用料を取られようとしています。これではヒューマンに通えば通うほど赤字になり、中途障害者は家にこもりつきりになりますよ」。

だ、知らなかった。「ヒューマン」は交通事故や脳卒中などで中途障害を持った人々の

上:思想・信条の違いを越えて「オールすいた」で見直しを求める(メイシアターで)

中:パンを焼くのは楽しいよ(スマイルぶくぶく)

下:脳卒中の健康講座も(工房ヒューマン)



化しているというのも現代社会の特徴だ。

◆工房ヒューマン —施設に通えば通うほど赤字なんて…

吹田市日の出町にある「工房ヒューマン」。ここでは弁当の宅配とクロネコヤマトのメール便配達を行っている。クロネコは障害者のために働く場を提供してくれているの

働く場。1990年、岡宏一(61歳)さんは脳卒中で倒れ、1級の障害者に。絶望の中、リハビリを繰り返す中で希望の灯をともし、仲間とともに中途障害者の働く場を作った。

97年に第一工房ができて以来、同じような境遇の方々から「入れてほしい」と要望が殺到。今では吹田3か所の工房が。「ヒューマンのような作業所は社会的に見ても必要なん

かつて日本は1億総中流社会と言われた。真面目に働けば誰もが定年まで働けたし、年金の保証もあった。バブル崩壊後、日本社会は一部の「勝ち組」と多くの「負け組」に2極分解した。ネットの株取引で1晩に数十億稼ぐ人がいる一方で、月給3万円で朝からパンを焼いている障害者もいる。「このままの『弱肉強食』の社会でいいのだろうか? 誰もが幸せになる権利を持っている。もちろん幸せになるためには努力せねばならない。前向きに生きようとしている人を応援すべき政府が、逆に邪魔をして家に引きこもらせようとしている。こんな政治がいつまで続くのだろうか。



「うめかもムリかも」という黄色いパンフレットが今、ちよっとした話題になっています。うめかも(梅田貨物駅)の吹田への移転を、住民投票で決めようという運動が広がっています。今年3月に予定されている吹田市議会で、吹田市長と一部の議員さんだけで「貨物駅

うめかも(梅田貨物駅)の吹田移転は住民投票で決着を

受け入れ」を決定されれば、吹田操車場跡地に(仮称)吹田貨物駅とトラックターミナルができて、1日1千台もの大型トラックがやってくる、というのです。

「ちよっと待ってー大型トラックの排気ガスこそ、センソクヤスギ花粉症アトピーの原因と違っの?」
「言うアナタ、正解です。吹田のよな住宅密集地にトラックターミナルを建設する」という発想自体が「住民無視」です。

それなのに吹田市は1月の市報で「貨物駅受け入れに向けて」という、あたかも「もう決まっ

まったかの ような」記事を載せて、住民の声を無視する態度に出ています。「トッブだけで勝手に決めん



メイシアターで開催された、住民投票サポーター集会

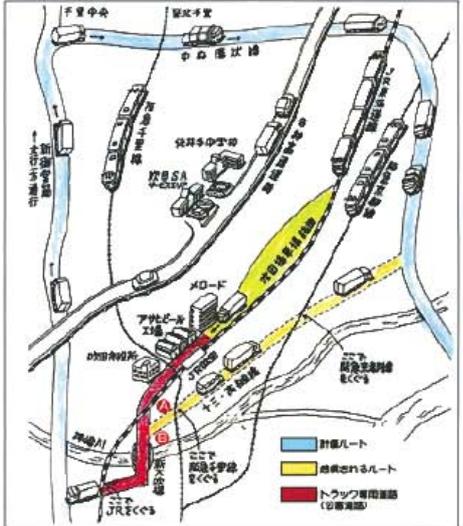
とって」と多くの市民が立ち上がりました。「大事なことはみんなで決める」住民投票こそが民主主義だとは思いませんか?

住民投票の仕組みは?

有権者の50分の1以上の署名を添えて、条例案とともに吹田市へ提出。その後市長が条例案を議会に提出して、市議会で可決されれば住民投票が実施されます。そ

梅田貨物駅の吹田移転の是非を問う 住民投票が実現するまで

- 2006年1月 サポーター(署名を集める人)募集
- ↓
- 2006年2月 住民投票を求める直接請願署名がスタート
- ↓
- 2006年3月 署名簿を添えて市長に提出
- ↓
- 3月吹田市議会 議会で可決→住民投票実施
議会で否決→勝手に決められる



吹田市内を走り回る!?

の際問題になるのは署名枚数。多くの署名がないと議会で否決されてしまう可能性も。

あなたもサポーター 署名を集める人に

下記あてに郵便かファックス、メールで住所、氏名、生年月日を。
〒564-0041 吹田市泉町1-21-4
住民投票を求める吹田市民ネットワーク「勝手に決めて委員会」
電話・FAX:06(6192)7033
Eメール:kamotu-hanntai@iris.eonet.ne.jp
※ご記入いただいた個人情報は受任者登録と署名活動にのみ使用します。

編集後記

「こんな新聞待ってたんや」と言われるようになったらいいな。ライバルはズバリ、「市報すいた」です。(に) 格差の拡大が固定化しつつある社会の中で、子どもや弱者をねらった犯罪が目立ちます。安心してらせる街

づくりを願う市民のみなさんとともにあたらしい新聞づくりをめざしたいと思えます。(T) ホットな情報、ほっとするニュースをお届けします。吹田の街に鴨が戻ってきてほしいですね。(た)